

愛知県代協 特別電子版

平成 26 年1月



一般社団法人 日本損害保険協会
中部支部委員会の皆様からの年頭ご挨拶編



(愛知県代協・損保協会中部支部委員会情報交換会 平成25年12月11日撮影)



一般社団法人 愛知県損害保険代理業協会

『年頭の挨拶』

一般社団法人愛知県損害保険代理業協会
会長 高木 勝



あけましておめでとうございます。

新年を迎えるにあたり年頭の所感を申し上げます。

日本経済はアベノミクス効果により大企業の景況感や一部富裕層の消費マインドは上昇しているものの、末端ではまだその恩恵を享受できず、むしろ貧富の差が広がっている感さえあります。4月には消費税増税も控えており予断を許さない状況です。また日本のみならず世界のあちこちで未曾有の自然災害が頻発し、今後もそうした大災害に見舞われる確率が高くなるとゆうのが専門家の予測で、将来への不透明感は高まっています。

このような状況下、保険業界を取り巻く情勢を見ますと、昨年開催された金融庁の金融審議会「保険商品・サービスの提供等の在り方に関するワーキング・グループ（WG）」の報告書を受けて、委託型募集人や共同募集等を認めないなどさらに厳しい募集環境になっていくものと思われます。そうした変化に対しますます迅速かつ的確な対応が求められるようになって参ります。

私たち代理店がこうした厳しい環境を乗り越えて行くためのキーワードは「すべてはお客様のために」です。今後どのような情勢になろうとも、常に消費者目線に立って愛知県代協会員一人一人が明日に向かって取り組む事こそが最大の課題ではないかと思えます。

さて、本年度も残りわずかとなり、事業計画も滞りなく遂行し着実に成果が見えて参りました。特に教育委員会の「出前授業」は、稲葉委員長を中心として各委員の皆様が真摯に事業に取り組んでいただき、マニュアルの完成を見る事ができました。愛知県下のより多くの高校で「出前授業」が開催できれば、地域社会から信頼される業界団体としてさらに認知度を高めることができると思えます。



年度末に向けて積み残した事業に全力で取り組み、愛知県代協が一步でも前進できるよう努力する所存でございます。今後とも会員の皆様のご協力を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

末筆ではございますが、会員の皆様の更なるご繁栄とご健勝をお祈りして年頭のご挨拶とさせていただきます。

損保協会 中部支部委員会 年頭のご挨拶



委員長 重田 昇三 (株式会社損保ジャパン・日本興亜損害保険株式会社
常務執行役員中部本部副本部長)



新年明けましておめでとうございます。

日本損害保険協会中部支部委員長としてひとこと新年のご挨拶を申し上げます。

さて、昨年は損保業界を取り巻く環境が本当に大きく変化した1年でした。そのような中、損保協会においては、一昨年4月からスタートした3ヵ年計画である第6次中期基本計画のちょうど折り返し点を通じたところです。保険金詐欺や不正請求の防止に向けた取組み、東日本大震災を受けた地震保険制度の各種課題への対応、消費者利便の向上と代理店および会員会社の業務効率化のための共通化・標準化の取組み、損害保険募集人のさらなるレベルアップに寄与するための取組みやルール整備に向けた対応など、まだまだ課題は盛りだくさんですが、ここ中部地区においては、我々のパートナーである愛知県代協の皆様とまさに車の両輪となって各種課題に鋭意取り組んでまいりたいと存じます。

また、私の所属している「日本興亜損保」は、「損保ジャパン」と今年の9月1日に合併いたします。新会社となります「損保ジャパン日本興亜」は、損害保険会社単体としては、国内で最も収入保険料が大きい会社となります。規模だけでなく、サービス品質でも業界をリードする会社を目指しますので、本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。



副委員長 角山 豪 (富士火災海上保険株式会社 東海・北陸本部長)


新年あけましておめでとうございます。

旧年中は格別のご高配を賜りまして誠にありがとうございました。本年も引き続き皆さまと共に活力ある地域社会の実現に挑戦してまいりる所存ですので、なにとぞよろしくお願い申し上げます。

さて、昨年6月に富士山がユネスコの世界文化遺産に登録され、9月には2020年の東京でのオリンピック・パラリンピック開催が決定しました。本年も、このように明るく希望に満ちた話題満載の1年であって欲しいと願っております。

また、昨年は弊社にとりましても重大な出来事がございました。同じくAIGグループであるAIU損害保険会社との経営統合の発表です。統合は来年7月以降となりますが、深い顧客・マーケット理解をもった最先端の保険会社の設立を目指して準備を進めておりますので、どうぞご期待下さい。

末筆ではございますが、皆様のご健康とご多幸を心よりお祈り申し上げ、年頭のご挨拶とさせていただきます。

 **委員 吉田 靖之** (あいおいニッセイ同和損害保険株式会社 執行役員中部本部長)


新年あけましておめでとうございます。

旧年中は格別のご厚情を賜り、誠にありがとうございました。

あいおいニッセイ同和損保は創業三年を経過しましたが、「お客様満足度No.1活動」「全力サポート宣言」を掲げ、「迅速・優しい・頼れる」存在として、営業活動や事故対応を実践しています。本年も地域の経済・社会の発展に貢献し、お客様により一層の安心と満足をお届けできる信頼される会社創りに鋭意努力して参ります。

また、愛知県代協の会員入会の促進を皆様と共に取り組んで参りたいと存じます。最後になりましたが、本年も変わらぬお引き立ての程よろしくお願い申し上げます。皆様のご健勝とご発展をお祈り申し上げます。



 **委員 田畑 正則** (朝日火災海上保険株式会社 名古屋支店長)


愛知県損害保険代理業協会会員の皆様、賛助会員の皆様、あけましておめでとうございます。平素は格別のご厚情を賜り、厚くお礼申し上げます。

私共朝日火災は、「FACE TO FACE」をモットーに、代理店の皆様と真のパートナーとなるべく日々歩んでおります。これからも常にお客様、代理店の皆様の立場に立ち業務に邁進する所存です。

これからの保険業界は競争がますます激化し、また代理店制度の枠組みも大きく変わっていく事が推察されます。そのような中で朝日火災は、経営理念のもと、代理店の皆様、保険業界の皆様と共に変化し続け、感動を提供して参ります。

どうぞ本年も変わらぬご愛顧を宜しくお願い申し上げます。



 **委員 志賀 淳一** (共栄火災海上保険株式会社 中京支店長)

新年明けましておめでとうございます。会員の皆様におかれましては、つつがなく新しい年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

旧年中は、格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

昨年は、一部地域で甚大な被害は発生したものの、大規模な自然災害の減少や株式相場の好転などで、業界全体の事業環境は回復に向かう一方、今後の消費税増税などを想定しますと、引き続き厳しい競争が続くものと思われまます。

このような状況の中、当社は今まで以上に「代理店の皆様とお客様の関係」、「弊社と代理店の皆様との関係」を大切にしてお客様の信頼と期待に応える「一番身近な保険会社」を目指し、皆様と一緒に汗をかいて共に進んでまいります。

この1年が会員の皆様、ご家族ならびに従業員の皆様方にとって、より良い年であるとともに、ますますのご発展とご多幸を心より祈念し、新年のご挨拶とさせていただきます。



委員 **石川 善朗** (セコム損害保険株式会社 名古屋支店長)

新年あけましておめでとうございます。

日本経済も安定上昇傾向であり明るい話題の多い昨今ですが、午年の本年は更に良い方向に疾走して欲しいものです。

損保業界においては近年の異常気象にともなう自然災害の多発等により、決して順風満帆とはいえない状況ですが、このような時こそお客様のお役にたつことが出来る絶好のビジネスチャンスであると考えております。このチャンスを最大に生かす為にはお客様の満足を最優先に、代理店の皆様と保険会社が情報を共有して連携することに尽きると思います。愛知県代協の皆様とともに更なる発展を祈りつつ新年の挨拶といたします。



委員 **木村 亨** (東京海上日動火災保険株式会社 専務執行役員)

明けましておめでとうございます。

旧年中は格別のご高配を賜り、誠にありがとうございます。

さて、弊社では、約5年の歳月をかけまして、昨年7月、新ビルを竣工致しました。地域貢献と環境性能を最大限追求するとともに、当地最高水準の耐震性を兼ね備えており、大規模災害時のBCP拠点として代理店の皆様や地域社会に貢献できる体制を構築することができました。

本年は、「お客様に品質をお届けし、選ばれ、成長し続ける」ことを目指した弊社の中期経営計画「変革と実行」の最終年度を迎えます。抜本超保険や超ビジネス保険等の戦略的商品に加え、お客様接点強化の為のツールである「次世代モデル」等の仕組みの活用も大いに進んで参りました。今後とも、皆様と一緒に、永続的な代理店経営と持続的な成長を追求し、実現する良きパートナーであり続けたいと思います。

代理店の皆様ならびにご家族の方々の益々のご多幸とご発展を心よりお祈り申し上げます。



委員 **権平 憲昭** (日新火災海上保険株式会社 東海第1事業部長)

明けましておめでとうございます。

日新火災でございます。平素は当社業務に格段のお引き立てを賜り御礼申し上げます。

さて、年も改まり心機一転の気持ちで平成26年に望みたいと存じます。代協会員各位様とは、他社様にはない独自政策について認知いただいているかと存じます。当社政策はいわゆる中堅・中小零細代理店様の自力自走を願い打ち立てたものです。主な政策は以下の通りです。

- ① 代理店合併政策を取らず、代理店さんの自力自走を応援する。
- ② 代理店さんと保険会社はイコールパートナーと考え、お互いの共存共栄を目指す。
- ③ 代理店手数料については『量より質』を重視する。

今後ともこの政策を強力に推し進め、微力ではございますが代協会員各位様の一助になれば誠に幸甚に存じます。

今年も、どうぞよろしくお願い致します。



委員 丹保 人重 (三井住友海上火災保険株式会社 執行役員中部本部長)

あけましておめでとうございます。皆様におかれましてはつつがなく新しい年をお迎えることとお慶び申し上げます。年頭にあたり一言ご挨拶申し上げます。

昨年11月に開催された日本代協コンベンションでは、「魅力ある企業」としての代理店を考える」をテーマに、大変な盛会だったと伺っております。業界を取り巻く環境に目を向けますと、少子高齢化や自然災害の頻発など、厳しさは増す一方であり、保険代理店業の専門性や存在価値が今後ますます問われることとなります。

そのような中、愛知代協の活動の柱とされている「代理店及び募集人の資質向上」は、保険代理店業の価値を高めるとともに、魅力ある企業に繋がる取組そのものであり、我々もその実現に向けて、皆さまと共に邁進して参ります。

最後に、この新しい年がより佳き年になるよう心より祈念いたしまして、私からの年頭のご挨拶とさせていただきます。



オブザーバー 原田 正彦 (A I U損害保険株式会社 名古屋支店長)

あけましておめでとうございます。

愛知県損害保険代理業協会会員の皆様には、旧年中は、社業務につきまして格別のご高配を賜り誠にありがとうございました。

代理業協会様におかれましては、損害保険大学校の運営による募集人の資質向上やお客様向け情報発信等多岐にわたる消費者様向けの活動を通じ、損害保険の健全な普及を目指した取り組みを活発にされ、損害保険業界全体の地位向上に真摯に努められている事に改めて敬意を表します。

弊社も「お客様に信頼され、選ばれ続ける存在」となれるよう、皆様と一緒に業界の地位向上に努めてまいります。

本年も変わらぬお引き立ての程よろしくお願い申し上げます。

皆様のご健勝とご発展を心よりお祈り申し上げます。



オブザーバー 畑原 清 (エース損害保険株式会社 名古屋支店長)

新年、あけましておめでとうございます。 本年もよろしくお願い申し上げます。

昨年は、「代理店賠償 新日本代協プラン」において多大なるご支援を賜り衷心より御礼申し上げます。

弊社は、「代理店の皆様の『立場・利益・ニーズ』を最優先に考え、最適な『商品・情報・付加価値サービス』を提供する」ことを念頭に置き、支店メンバーと全力で取り組んでまいりました。

本年は、弊社の営業社員が代理店の皆様からの評価をいかに高めていくか、ということを中心に大きな課題として、環境整備とともに社員教育トレーニングをさらに徹底していきたいと考えています。代理店の皆様のお役に立てるよう駿馬のスピードで勇猛果敢に営業推進に取り組んでまいりますので、皆様方の倍旧のご支援ご協力を何卒よろしくお願い申し上げます。結びとなりますが、皆様のご健勝とご活躍を心より祈念申し上げます。

一般社団法人 日本損害保険協会のご紹介

損害保険協会の概要 【沿革】

1917年、当時わが国において火災保険事業を営んでいた内外保険会社を会員とする大日本聯合火災保険協会が設立され、同会が本会の起源とされている。

1920年には日本海上保険協会、1927年には船舶保険協同会が設立された。その後、1941年に前記の火災保険、海上保険関係の団体が合体し、日本損害保険協会(旧)に発展した。翌1942年、日本損害保険協会(旧)は損害保険統制会となってその性格も変わったが、終戦とともに統制会は解散となった。

戦後の1946年、損害保険会社の中心的機構としての日本損害保険協会が改めて設立され、1948年には社団法人の認可を得た。

2012年4月1日に、新公益法人制度対応の中で、一般社団法人に移行し、現在に至っている。

【事業の目的】

わが国における損害保険業の健全な発展及び信頼性の向上を図り、もって安心かつ安全な社会の形成に寄与することを目的としている。

【主な事業内容】

- (1) 損害保険の普及啓発及び理解促進に資する事業
- (2) 損害保険契約者等からの相談対応、苦情及び紛争の解決に資する事業
- (3) 損害保険業の業務品質の向上に資する事業
- (4) 損害保険業の基盤整備に資する事業
- (5) 事故、災害及び犯罪の防止又は軽減に資する事業
- (6) 損害保険業に関する研修、試験及び認定等の事業

【会員会社】 (26社 50音順、2012年4月1日現在)

あいおいニッセイ同和損害保険株式会社	アイペット損害保険株式会社
朝日火災海上保険株式会社	アニコム損害保険株式会社
イーデザイン損害保険株式会社	エイチ・エス損害保険株式会社
SBI損害保険株式会社	au損害保険株式会社
共栄火災海上保険株式会社	ジェイアイ傷害火災保険株式会社
セコム損害保険株式会社	セゾン自動車火災保険株式会社
ソニー損害保険株式会社	株式会社損害保険ジャパン
そんぼ24損害保険株式会社	大同火災海上保険株式会社
東京海上日動火災保険株式会社	トーア再保険株式会社
日新火災海上保険株式会社	日本興亜損害保険株式会社
日本地震再保険株式会社	日立キャピタル損害保険株式会社
富士火災海上保険株式会社	三井住友海上火災保険株式会社
三井ダイレクト損害保険株式会社	明治安田損害保険株式会社

損保協会 中部支部委員会 (10社・オブザーバー2社) *敬称、社名略 委員10社 50音順

委員長	重田 昇三 (損保ジャパン・日本興亜 常務執行役員中部本部副本部長)
副委員長	角山 豪 (富士火災 東海・北陸本部長)
委員	吉田 靖之 (あいおいニッセイ同和 執行役員中部本部長)
委員	田畑 正則 (朝日火災 名古屋支店長)
委員	志賀 淳一 (共栄火災 中京支店長)
委員	石川 善朗 (セコム 名古屋支店長)
委員	木村 亨 (東京海上日動 専務執行役員)
委員	権平 憲昭 (日新火災 東海第1事業部長)
委員	丹保 人重 (三井住友海上 執行役員中部本部長)
オブザーバー	
	原田 正彦 (AIU 名古屋支店長)
	畑原 清 (エース 名古屋支店長)

一般社団法人 日本損害保険協会 本部

所在地 〒101-8335 東京都千代田区神田淡路町 2-9

電話番号：03-3255-1844（代表）

受付時間：9:00～12:00、13:00～17:00

曜日：月曜日から金曜日（祝日および年末年始休業期間を除く）

※自動音声応答により、担当部署におつなぎいたします。

なお、以下のご相談等につきましては、専用のお問い合わせ先を設置しております。

募集人 ID・パスワードに関するご照会

損害保険代理店試験コンタクトセンター

電話番号：03-6204-9840

受付時間：9:00～18:00

曜日：月曜日から金曜日（祝日および年末年始休業期間を除く）

代理店試験（損害保険代理店試験コンタクトセンター）のご案内

<http://www.sonpo-dairiten.jp/toiawase/index.html>

損害保険に関するお問合せ・ご相談・苦情・紛争解決のお申し立て

そんぽ ADR センター

ナビダイヤル（全国共通・有料）：0570-022808

PHS・IP 電話から：03-4332-5241

受付時間：9:15～17:00

曜日：月曜日から金曜日（祝日および年末年始休業期間を除く）

一般社団法人 日本損害保険協会 中部支部

所在地 〒460-0008 名古屋市中区栄 4-5-3 KDX 名古屋栄ビル 4 階

連絡先 TEL：052-249-9760

アクセス方法 地下鉄栄駅 12 番出口徒歩 5 分

※備考：「名古屋支部」から「中部支部」に名称が変更になりました。

そんぽ ADR センター中部

ナビダイヤル（全国共通・有料）：0570-022808

PHS・IP 電話から：052-308-3081

詳しくは、一般社団法人日本損害保険協会ホームページを検索ください。

【編集後記】

損保協会委員会の皆様、12月の忙しい時期にも関わらずご投稿いただきありがとうございました。中部支部委員会と愛知県代協との連携がより活発になるよう広報委員会も活動してまいりますので、よろしく願いいたします。

愛知県代協・広報委員長 金子紀代志

編集・発行 一般社団法人 愛知県損害保険代理業協会・広報委員会

〒460-0008 名古屋市中区栄 1-13-4 みその大林ビル 6 階 C 号

TEL:052-203-8722 FAX:052-203-8723

Eメール: aidaikyo@crocus.ocn.ne.jp

<http://www.aichidaikyo.or.jp/>